

こおりまち 議会だより

令和3年冬号 VOL.123



昭和32年11月に完成した庁舎議場での、
最後の定例会を終えた。63年間に渡り、
誇りのもてる桑折町発展のために議論を重ねた場である。
(コロナ感染拡大防止のため、マスクを着用しての撮影となる)

12月定例会 2

公共施設を広域による共同利用を
(一般質問 10名登壇) 4

特別委員会報告 16

12月定例会

令和2年12月定例会は、12月8日から14日までの7日間の会期で開催された。

提出案件は、条例改正5件、補正予算6件、発委2件の計13件を審議し、すべて原案通り可決した。

条例改正

公告の掲示場が 新役場庁舎一ヶ所に

町公告式条例の一部改正

役場新庁舎移転に伴い、既存の掲示場を役場前に統合するための改正。

左記の4ヶ所の掲示場から、新町役場の掲示場に。

- ・桑折町役場前
- ・桑折町消防団第1分団第3部屯所車庫脇
- ・ふくしま未来農業協同組合伊達崎支店前
- ・桑折町立半田醸芳小学校前

質疑 町役場の掲示場の具体的な設置場所やホームページなどでの公示の在り方等、町民の利便性について質疑が行われた。

デジタル化！

印鑑登録証明書が

「コンビニで受け取れる

町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

個人番号カードを使用し、コンビニエンスストア等に設置さ

れている多機能端末機を介した印鑑登録証明書の交付を可能とするための改正。

質疑 利用開始時期や、利用可能場所、手数料などが質疑された。

陸合テニスコート廃止 利用者の安全と修繕費を考慮

町体育施設条例の一部改正

平成29年度より閉鎖している陸合テニスコートを廃止するための改正。

質疑 テニスコートの廃止に至る経緯や、過去の利用者状況や、仮に再開するとした場合にかかる費用(芝生の張り替え等の3,000万円)などが質疑された。

町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、令和3年1月1日以降の期間に対応する、後期高齢者保険料の延滞金及び還付加算金に関する改正。

道路占用料の消費税分

年間30万円程度増加

道路占用料徴収条例の一部改正

道路法施行令及び福島県道路占用料徴収条例の一部改正に伴い、道路占用料の改定等の改正。

用語説明

可決…会議で、提出議案の承認を決定すること

質疑…疑問の点を問いただすこと。特に、議案や動議について、提出者・発議者などに口頭で説明を求めること

道路占用…道路上に電柱を設置する場合など、道路に一定の施設を設置し、継続して道路を使用すること

公示…政府・公共団体が、ある事項を広く一般に知らせること

補正予算

税制改正に伴う

システム改修費の負担増
職員人件費1,035万円減

一般会計(第10号)

歳入歳出予算総額にそれぞれ

1,746万2千円を追加し、予算総額90億4,291万3千円とする。

《歳入の主なもの》

- ・森林環境譲与税 104万3千円
- ・農業次世代人材投資事業 150万円
- ・町振興寄附金 30万円
- ・農業振興基金繰入金 84万円
- ・前年度繰越金 1,143万円

《歳出の主なもの》

- ・移住定住推進費 550万円
- ・農業振興対策事業費 234万円
- ・森林環境譲与税事業費 116万9千円
- ・道路維持管理費 230万円
- ・給食センター施設運営費 129万7千円
- ・職員人件費 ▲1,035万3千円

個人番号カード
マイナンバーカード 申請

＜ご案内ページ＞



＜お問い合わせ＞
税務住民課住民係
582-2111

国民健康保険特別会計(事業勘定(第2号))

歳入歳出予算総額にそれぞれ32万7千円を減額し、予算総額13億5,831万7千円とする。

《歳入》

- ・県支出金 ▲3万円
- ・繰入金 ▲46万9千円
- ・繰越金 17万2千円

《歳出の主なもの》

- ・総務管理費 ▲108万2千円
- ・葬祭費 20万円
- ・償還金及び還付加算金 50万円

制度改正に伴う

システム改修経費

後期高齢者医療特別会計(第1号)

歳入歳出予算総額にそれぞれ71万9千円を追加し、予算総額1億8,075万3千円とする。

《歳入》

- ・繰入金 71万5千円
- ・雑入 4千円

《歳出》

- ・総務管理費 71万5千円
- ・還付加算金 4千円

介護保険特別会計(保険事業勘定(第2号))

歳入歳出予算総額にそれぞれ638万8千円を追加し予算総額16億6,730万1千円とする。

《歳入》

- ・国庫補助金 130万円
- ・一般会計繰入金 378万8千円
- ・繰越金 130万円

《歳出》

- ・総務管理費 508万8千円
- ・高額医療合算介護サービス費 130万円

内之馬場浄水場修繕費

水道事業会計(第1号)

水道事業収益(収入)

主な理由：有収水量の増
総額3億7,519万8千円

水道事業費用(支出)
336万6千円

主な理由：人件費・水道施設修繕費増
総額3億7,138万8千円

請願 審査結果

継続審査の申出

国に対し「再審法(刑事訴訟法の再審規定)の改正を求める意見書」

〔請願者〕

伊達市梁川町中久保10-1
日本国民救援会伊達支部

支部長 二瓶 勇雄

〔審査委員会〕

総務文教常任委員会

〔審査結果〕

継続審査すべきものと決した理由 高度な判断を要するため

請願・陳情とは

町民のみなさんの意見や要望等を町政へ反映させる制度です。※請願・陳情書の作成・提出方法については議会事務局へお問い合わせ下さい。

(電話)582-2113



議長室(第14代)



狭かった議会事務局

旧庁舎の各部屋



斉藤 謙 議員

公共施設を広域による共同利用を ネットワーク社会構築は重要



ー広域連携による活用をー

問 総合計画策定方針等に関して、人口減少局面における限られた資源を巡る過度な競争による分断を避けるためにネットワーク社会を構築すべきと言われている。更なる広域連携を桑折町が主導して図っていく考えはないか。そのためには、①地方行政のデジタル化②公共私の連携③地方公共団体の連携等を推し進めていく必要があるのではないか。例えば公共施設の共

答 町長 ネットワーク社会の構築は地域社会の課題解決や地方創生に大いに寄与するものである。福島圏域連携推進協議会への参画や地元金融機関等との包括的連携協定のほか、民間企業や大学等、連携を積極的に展開しているが、産学官連携の充実と強化に努めていく。

問 健全な財政運営等に関して経常収支比率が年々高くなり、財政構造の硬直化が一段と進んでいる。総合戦略策定時点(平成27年10月)で既に当町の財源確保が懸念ではなく、危惧とし、厳しい状況は既に承知している中で、具体的な取組みをしてこなかった。2060年には人口が半減になる予想がされており、現在の経常充当一般財源を半分にするのか、町民税を倍とするのか今後、どのように対応して

いくのか。また、自主財源をどのように確保していくのか喫緊の課題である。施設等の命名権の貸与や遊休資産の売却等での財源確保策を積極的に進めていくべきでないか。

答 町長 経常収支比率は財源確保と「行政経費の節減合理化」「事務事業の選択と集中」をさらに進め、改善努力を地道に重ねながら低減化に努めていく。

これも 質 問

問 コロナ発症者の地区名発表できないか

答 県保健所の公表範囲指示により公表

問 外郭団体の定期的な監査実施を

答 定期的に経営状況を確認し適時指導

問 デジタル化に向けて有識者の配置を

答 デジタル化に向け、有識者の配置検討

一 般 質 問

10名登壇

町政を問う

- ◇一般質問は、質問者が事前に提出した通告書に基づいて、一人持ち時間60分で行われます。
- ◇内容は、質問者の責任において作成されたものを掲載しています。
- ◇質問項目は、通告によるものです。
- ◇一般質問の様子は桑折町議会ホームページで過去一年分までご覧いただけます。

登壇議員	質 問 項 目 ◎印の質問の概要を掲載しています
斉 藤 謙 (5 ページ)	◎総合計画策定方針等に関して ・財務書類の作成目的等に関して ・行政機能の強化等に関して ・「桑折町まち・ひと・しごと創生総合戦略」等に関して ◎健全な財政運営等に関して ・新型コロナウイルス対策等に関して
半 澤 高 (6 ページ)	◎相馬福島道路の全線開通と「イオンモール北福島(仮称)」について ・「脱ハンコ」について ◎全国山城サミット桑折大会後の西山城周辺のあり方について ・GIGAスクール構想と「桑折町の教育」について
原 賢 志 (7 ページ)	・伊達市への大型商業施設進出計画について ◎福島蚕糸跡地の利活用について ◎マイナンバーカードの普及について
鈴 木 隆 志 (8 ページ)	◎災害廃棄物早期処理について ◎上水道の安定供給について ・給食費の「公会計化」について ・図書室の利用拡大について ・コロナ感染症対策について
佐 藤 武 朗 (9 ページ)	◎新庁舎開庁後、速やかに通常業務が行われるための準備、対応について ・史跡桑折西山城跡及び、周辺整備事業の今後の進め方について ・農業政策の中で「新規就農者」確保に向けた取り組みについて ◎営農継続にも影響しかねない「有害鳥獣被害」の防止対策について ・隣接市への大規模商業施設「イオンモール北福島(仮称)」出店計画について
佐 藤 榮 三 (10 ページ)	・基幹産業である農業振興と支援について ◎コロナ禍での体力づくりと安全対策について ◎田んぼダムを活用した減災対策について
川 名 静 子 (11 ページ)	◎コロナ禍における「安全・安心が担保される」対策に関して ◎SDGsを達成するための推進に関して ・「住みたい町、住み続けたい町 こおり」を持続させる対策は ・全国山城サミット 桑折プレ大会の総括と本大会に関して
岡 本 貴 士 (12 ページ)	◎地域社会の創生に向けた関連事業(シティープロモーション事業、地域おこし協力隊事業・移住定住関連事業)の目的と今後の取り組みについて ・国の第3次補正予算を視野に入れた事業への取り組みについて ・新役場庁舎の活用拡大と現役場庁舎の活用について ◎コロナ禍による児童・生徒と町民のメンタルケアについて
岩 崎 久 男 (13 ページ)	◎仙台高裁判決と損害賠償について ◎新型コロナ対策はPCR検査拡充と体制の強化を ・阿武隈川等へ早期改修について ・イオンモール出店計画について
齋 藤 松 夫 (14 ページ)	・新型コロナウイルス感染症対策について ◎阿武隈川流域治水プロジェクト及び、第1回阿武隈川流域治水協議会(県北方部)について ◎水道事業ビジョン策定(本年度)と、15年後となる簡易水道統合事業着手方針(案)について ・簡易水道統合と水道事業経営戦略について ・半田・睦合の中山間地、山沿い地域振興対策について



半澤 高 議員

相馬福島道路全通・イオンモール開業は 県北地域全体の活性化に寄与

問 相馬福島道路は、今年度中の全線開通を目指して工事が進められており、「イオンモール北福島（仮称）」については先月福島市長が出店計画承認の考えを示し開業に向けて大きく前進した。これらは桑折町、さらには県北地方にとって今後の地域振興の起爆剤になると考えるが町長の所見を伺う。

答 町長 イオンモール北福島（仮称）については事業内容の詳細を承知していないが、福島市長の計画承認によって手続きが

大きく進展するものと受け止めている。今後実現すれば県北地域全体の活性化に寄与すると考える。

問 相馬福島道路およびイオンモール北福島（仮称）の利用者を桑折町に呼び込む方策は考えているのか。

答 町長 大きく人の動きや流れが変わることが想定されることから、まちづくりに磨きをかけるとともにシティプロモーションの強化により、町の魅力を発信していく。



―活性化に期待―

山城サミット後の西山城跡のあり方は 全国に向け情報発信の強化をはかる

問 全国山城サミット桑折大会を成功させることは勿論であるが、本大会後の西山城跡とその周辺のあり方と周知についてどのように考えているか伺う。

答 町長 西山城跡の情報発信についてはHPやパンフレットの充実はもとより歴史雑誌等への紹介記事掲載や山城関連アプリへの登録、城郭研究家による西山城跡開設動画の配信などを通し内外に向け強化していく。なお、現在の国道4号「桑折町



原 賢 志 議員

商業施設も選択肢の一つか 公共的機能を持つ商業施設

問 福島蚕糸跡地の活用について、商業施設も選択肢の一つであるとの考えに変わりはないのか伺う。

答 町長 町の活性化と町民生活の利便性向上の観点から商業施設の誘致も一つの方策と捉えているが、伊達市における大型商業施設の出店計画が進展することも踏まえた対応が必要と考えている。商業施設だけではなく公共的機能を併せ持つ複合的施設を民間と共同で整備してい

くべきと捉えている。商業施設が町民の皆さんにとって利便性のある施設・規模であるべきだ。お出かけパスを利用して中心市街地の賑わい創出にも繋がることから、今後の町のランドデザインを変えていくうえで新たな核としてまちづくりの中心に据えることができる。町づくり交付金事業であることから、公園以外の利用となれば国庫補助金の返還が必要となる。



―町民にとっての計画を―

総務省以外の実証実験も 活用される町を目指したい

問 マイナンバーカードの普及率を年度末までに50%を達成しようとしている。現在の推進状況について伺う。また、総務省以外の省庁からの実証実験を受け入れることで町・町民にとって有益と考えるが所見は。

答 町長 「こおり応援商品券」等の効果もあり、役場窓口での申請が急増し、交付率の上昇が期待されている。役場窓口の休

日・夜間開庁に加え、企業・団体等への出張申請受付を始めるとともに、町内4地区公民館での休日受付も実施するなど一層の普及推進を図っていく。併せて町内会で開催して頂けるのであれば日程を調整し受付を行いたい。突出した交付率を誇る町として国の実証実験等の現場として活用されるような町を目指したい。

これも 質 問

問

大型商業施設進出計画への所見と対応

答

出店を踏まえたまちづくりを進めていく



鈴木隆志議員

災害廃棄物の早期処理は 処理計画を策定し活用する

- 災害廃棄物の早期処理体制確立に向け伺う。
- 問** 災害廃棄物処理計画の策定は。
- 答 町長** 県の年度内見直しを踏まえ策定検討する。
- 問** 災害廃棄物を速やかに撤去する方策は。
- 答 町長** 昨年の台風19号災害を教訓に伊達地方衛生処理組合等と綿密な連携により対応する。
- 問** 災害廃棄物仮置き場の設置の考えは。
- 答 町長** 伊達地方衛生処理組合敷地を利用するので設置する予定はない。
- 問** 桑折町建設組合との災害廃棄物の撤去・収集・運搬に関する協定の考えは。
- 答 町長** 災害復旧工事が優先されるので協定は考えていない。
- 問** 災害廃棄物処理支援制度活用の考えは。
- 答 町長** 活用について今後、調査研究していく。
- 問** 福島市と伊達地方衛生処理組合との相互援助協定活用は。
- 答 町長** 災害又は廃棄物処理施設の故障等により廃棄物を処理できない場合は協定を活用していく。

水道水の安定供給確保は 365日24時間体制で対応

- 生活用水として重要な水道水の安定供給確保に向けての維持管理について伺う。
- 問** 災害に対応した危機管理マニュアルの見直しは。
- 答 町長** 迅速かつ的確に対応するため必要な見直しを随時行っている。
- 問** 応急給水訓練の実施は。
- 答 町長** 毎年、町域防災訓練及び構成団体と合同で実施している。
- 問** ICTを活用した遠隔管理システムの導入は。
- 答 町長** 内之馬場浄水場をはじめ各配水池等に導入している。



—遠隔管理システムで常時監視—

- 問** 遠隔システムから異常通報あった場合の対応は。
- 答 町長** 携帯電話を常に携帯し通報が入りしだい早急に対応している。

これも質問

- 問** 給食費の公会計化を採用する考えは
- 答** 現時点において必要ないと考えている
- 問** 利便性を高めるため図書室から館に
- 答** まずは図書室として利用拡大を図っていく
- 問** コロナ感染症拡大に伴う感染防止対策は
- 答** 万全を期しているが、更に対策を強化する



佐藤武朗議員

「町民のため」の新たなスタートでは 行政サービスの向上に努める



—開庁初日の1階フロアの様子—

- 新庁舎の移転はゴールではなく、「町民のため」の新たなスタート。そこで、開庁後、滞りのない事務執行及び、早期に取り組みべき事業等について次の点を伺う。
- 問** 就業規則等及び職員対応マニュアル等の作成は。
- 答 町長** 町民のための庁舎であり、総合案内の新設、課の集約による窓口のワンストップ化、プライバシーに配慮した相談室利用等、職員一人一人が接遇マ
- ニユアル、各種施設の運用・就労ルールを徹底し、より一層行政サービスの向上に取り組んでいく。
- 問** 庁舎移転は、今後のまちづくりに大きく変化が伴うものであり、早期に役場周辺は勿論、町全体の都市計画の見直しに着手すべきと考えるが。
- 答 町長** 新たな町の総合計画、令和4年度改定の県北都市計画マスタープランとの整合性を図り令和5年度に改訂の予定。

「営農継続」の危機に対する対応は 補助制度の更なる整備を検討

- 15 kmの「侵入防止柵」を設置し4年が経過。その後、被害防止対策に各種の事業を展開。一定の効果はあったが根本的な解決には至らず今後の展開について伺う。
- 問** 「侵入防止柵」維持管理についての今後の対応は。
- 答 町長** 補助制度の見直し、管理しやすい侵入防止柵のルート変更等も含め前向きに検討。管理は地元と連携し努める。
- 問** 中山間地の農業を守るため、農業従事者の圃場に対する補助
- 制度の充実が必要では。
- 答 町長** 今年度も各種補助制度を実施、次年度には更なる拡充と複数農家によるモデル事業を実施していきたい。
- 問** 有害鳥獣被害対策には、自助・共助・公助のバランスが噛み合う制度が必要と考えるが。
- 答 町長** 適正管理で農地を守る「自助」、侵入防止柵を維持管理する「共助」、さらに自助・共助の取り組みを支援補助する「公助」で効果に繋げる。

これも質問

- 問** 「全国山城サミット」本番に向けた整備は
- 答** 西山城に関しては本年度中に完了予定だが今後を担う、新規就農者確保に向けた取組みは
- 問** 就農者確保のための制度拡大も検討する
- 答** 大型商業施設の進出が本町にもたらすものは
- 答** 県北エリアの広域的な発展につながる



佐藤 榮三 議員

コロナ禍での体力づくりと安全対策は 夜間ウォーキングは目立つ服装で

問 ウォーキングする多くの町民を見かける。健康維持のため、良いことであるが夕方から夜にかけては暗く危険な面もある。特に車から良く見えない場合もあり危険と感じる。だれもが安全にウォーキング出来るよう、目立つ反射材タスキを義務化するべきでは。

答 町長 反射材は、夜間の交通事故防止に有効。服装に加え反射材の着用を努力事項として啓発に努める。

問 ふれあい公園周辺はウォーキングコースとして好まれてい

るが、西側の夜間は真っ暗闇で危険と感じる。他町の運動公園周辺は明るく整備されている。町民の健康を推奨している本町としては、すぐに防犯灯を設置すべきでは。

答 町長 夜間のウォーキングについては、目立つ服装や反射材を着用し、安全なコースを選ぶなど安全に配慮し、取り組んでいたことが前提である。ふれあい公園については体育施設の一部であることから、年度内設置に向けて検討していく。



—多くが利用されているふれあい公園—

田んぼダムを減災対策に活用しては 多面的機能支払い交付金事業で整備可能

問 温暖化によるゲリラ豪雨が多発し大きな災害が発生しており、これらの豪雨災害を少しでも食い止めようと考えられているのが田んぼダムである。田んぼの畦畔を補強し300ミリまでの貯水可能な水田に改造して、田んぼダムとして活用するものである。このダムを活用することにより身近にできる防災、減

災が進むものと考えているが。

答 町長 田んぼダムについては、大雨が降ったときに、一時的に水をためてゆっくり排水することで洪水被害を軽減する取り組みである。国が進めている「流域治水」の施策の中で、有効な治水対策として挙げており、多面的機能支払い交付金事業で整備が可能となっている。

これも 質 問

問 農業振興と支援策は

答 収入保険掛金の一部補てんを行う

「SDGs推進の町」宣言で町PRを 参考とする

問 複合災害から10年、取り戻しかけた日常生活がコロナの影響で奪われた。特に町内感染者に町民は不安だらけ、沈み込んでいる。最前線で働くエッセンシャルワーカーは女性が多い。非正規社員からの失職、家庭内暴力や自殺者の増等、男女を問わずコロナ禍により窮地に追い込まれた方の把握は。飲食業関係の制限措置は。重症化を食い止める策は。「自立の町桑折」だ

からできる町独自の経済支援策は。そして、何より町長は「町民の命と暮らし」を守るのか伺う。

答 町長 町独自の各種経済支援策を講じてきた。生活支援の相談には丁寧に応じ、国・県設置の窓口に積極的に周知する。「町民の命と暮らし」は守る。

※人々が日常生活を送るために欠かせない仕事を担っている人

※人々が日常生活を送るために欠かせない仕事を担っている人

問 国が2030年までに達成しようとしているSDGsを本町は、どのような方法で実現させるのか。年々大規模災害を引き起こす要因となる気候変動や人間も含めた生物多様性の行動等一人ひとりの行動がグローバルな目標に繋がっている事に気づかせ、知らせ、理解されることが重要と考える。悲鳴を上げている「地球を守る」行動を起こすため、行政が指導しリードすべきではないか。町民も町内事

業所も共に取り組むその一歩として、新庁舎に「SDGs推進の町」宣言の垂れ幕を揚げ、桑折をアピールしてはどうか提案する。

答 町長 町民の幸福と町の持続的な発展に相通じるものである。新総合計画の主要な視点と位置づけ、各種施策を展開すること職員を始め、町民や町内企業等への浸透拡大が図られると捉える。なお、提案は参考とする。

※生きものすべての命のつながり

町民の命と暮らしを守れるのか 守っていく



川名 静子 議員



—63年間 行政の拠点としての役目を終えた—

これも 質 問

問 住みたい町絶対条件は安心が担保されること

答 有害鳥獣対策、地域社会の安全安心を確保する

問 プレ大会 なぜ子供・女性が一人も登場しない

答 本大会には女性の参画も



岡本貴士議員

エールプロジェクトの目的は 感謝など特別な思いを込めた

問 私は、お陰様で2年目の冬を迎えました。本町産の美味しい新米をいただいております。生産者さんの顔が見える食事は贅沢であり、不思議と食に対する感謝が増します。本町の冬と言えば、駅前のイルミネーションに心を奪われる。今年も仕事帰りの方やコロナ禍で気持ちが沈んでいる方の心を癒してくれると思う。携わる関係各位に敬意を表したい。「旧郡役所・新

庁舎イルミネーション事業」が実施されるが、その目的と効果について所見を伺う。

答 町長 コロナ禍の中で頑張る医療・介護従事者や全ての町民の皆さんに向けて、感謝や応援など特別な思いを込めたメッセージイベントであり、町民の元気回復やシビックプライド醸成、地域活性化等を期待しているところだ。



ーコロナに打ち勝つ！ みんなで頑張ろう！ー

コロナ禍、子ども心の影響は 早期発見・対応に努める

問 コロナウイルス感染への不安と緊張、外出自粛による孤独、収入減や失業による生活苦など多くの要因が、町民の心の健康を脅かしている。この時もあり悩んでいる方がいるのではと考え、身につまされるような思いです。コロナ禍により学校生活や人間関係の変化などへのストレスから「行かない選択」をする児童・生徒が出てきているようだ。小中学校のいじめの状況と対策を伺う。

答 教育長 今年も各校で数件、悪口やかからかいなどの比較的軽微な案件を認知し、その都度、保護者との連携のもと関係児童生徒を指導・支援することにより解決を図っている。いじめ防止基本方針に基づき、望ましい人間関係づくりを通しての未然防止と、アンケート・教育相談による早期発見・早期対応に努め、重大事態の発生を防いでいる。

これも質問

問 新庁舎内に特設売店を設置しては

答 町民ロビー・広場等を開放していく

問 「こおり応援商品券」有効期限はあるのか

答 令和3年3月15日まで、申請は1月中旬に



岩崎久男議員

仙台高裁判決と損害賠償請求への見解は 国・東電の責任は重く継続されるべき

問 中間指針の見直しを国県に要望すべきと考えるが所見は。

答 町長 県原子力損害対策協議会の構成団体の皆様と共に、今月一日に協議会で要望活動を実施している。

問 原発事故の損害賠償請求の時効を再延長する法整備を国県に求めること、県の原子力損害対策協議会、全体会議を開催し国と東電に直接要望する機会を求めることが重要である。所見は。

答 町長 損害が生じている限り継続されるべきものであり、引き続き消滅時効を援用しないよう国、東電に要求していく。今月一日に実施された県原子力損害対策協議会の緊急要求に対し東電の小早川社長が「来年3月以降に法律上の時効が過ぎても、賠償請求に応じる方針を次期総合特別計画に明記する」との方針を明らかにした。



ー画期的な判決だ！ー

PCR検査拡充と体制強化を きめ細かい支援を国に要望した

問 感染リスクが高い医療・介護・福祉施設職員はPCR検査を優先し医療機関への減収補填、保健所の人員増を含めた体制強化が必要と考える。公費負担で行うよう、国県に要望すべきであるが所見を伺う。

答 町長 新型コロナウイルス感染対策については全国町村会を通じ、7月に引き続き、先月26日に医療機関への財政支援や体制強化、PCR検査体制の拡充等きめ細かい支援を国に対し

問 再度強く要望したところである。

問 感染拡大が急速に広がっているなか、GOTOキャンペーンを中止し、直接支援を拡充するよう、国県に求めるべきと考える所見は。

答 町長 国において、地域経済への消費喚起・需要拡大対策として進めている事業であり、中止等については感染拡大状況や経済への影響等を踏まえ総合的に判断するものと考えている。

これも質問

問 阿武隈川の堤防強化と遊水地を増やすことでは

答 流域各所で年次計画に基づき

問 イオンモール出店計画について

答 桑折町ならではの取組みに磨きをかける

実施されとの事



齋藤 松夫 議員

伊達地方に特別な氾濫防止対策を 事業効果見極め必要なら国に要望

問 「阿武隈川流域治水プロジェクト」は、必要不可欠であり賛意を表する。同時に、県境に狭窄部を抱え、県内最下流域に位置する伊達地方としては、それら改修が、台風時に阿武隈川水位のさらなる上昇・氾濫をもたらすのではないかと懸念も抱く。よって県内最下流域にふさわしい特別な対策として、「遊水池の設置」や、堤防強化のための「耐越水堤防化事業」を、

関係市町とともに要望してはどうか。

答 町長 県境狭窄部対策は、上流での大規模遊水池設置や流域ダムとの治水協定により、流量が抑制されるものにとらえている。今後、国において検証される整備等の効果を見極め、必要があれば関係市町とともに国に要望していく。耐越水堤防化事業は詳細を承知していない。



ーここからバックウォーターが…県境狭窄部ー

15年後統合方針は改められよ 諸問題あるが早期実現に努める

問 簡易水道あり方検討会に示した簡易水道統合スケジュール案は、5年後基本計画策定、10年後拡張計画策定、15年後事業着手の方針だ。初めから15年後着手方針は水道事業ビジョンに照らして問題がある。よって再検討を求めたい。このような案を示す前に、各組合の上水道加入意思確認が必要だ。基本計画策定前の意思確認はいつどのように行う考えか。

答 町長 今後の進め方は、来年度速やかに水道事業ビジョンの説明会を開催し、統合に必要な調査に着手する。概ね5年後の水道事業基本計画策定までに、すべての組合が統合に向けて意思決定できるようにしたい。統合には諸問題があるが、上水道の健全経営を図りながら早期実現に努めたい。

これも 質 問

問 GOTOキャンペーンへの評価は。

答 観光業や飲食業といった事業者には一定の効果があつた。

問 イノシシ対策に「囲い込み型防護柵」を増やすべきでは。

答 効果検証には更に時間が必要。

委員会活動報告

総務文教

常任委員会
委員長 斉藤 謙

本委員会として、所管の「町の事業と予算」に関して調査した。各担当課長から事業の進捗状況について説明を受けた結果、概ね計画通りの進捗となっている。また、「まち・ひと・しごと創生」の総合戦略・人口ビジョンのこれまでの総括に基づき、今後の改善点・課題等について提言する考え方である。担当課としては、これまでの総括を今年度末までとしているため、3月の定例会で報告することとした。反省があつて改善策等を検討することが基本である。

産業厚生

常任委員会
委員長 佐藤 榮三

調査報告

- 1、調査事件
有害鳥獣対策について
- 2、調査目的

3、調査結果

鳥獣被害を低減するため
本委員会は、これまで現地視察ならびに地域住民、有害鳥獣対策実施隊との意見交換等を実施し、調査を行ってきた。現状において、まだまだ多くの鳥獣被害があることから、以下の点について、さらなる対策を講じられたい。
(1) 15kmに渡り設置した侵入防止柵は、地元町内会での作業が困難な場所もあり、維持管理のしやすい新たなルート及び維持管理費の見直しを行うこと。
(2) 里側農地の囲い込みについては、個人・共同での囲い込みが有効であることから、現状の補助制度を見直すこと。
(3) 鳥獣の餌となる里側放任果樹の伐採及び、やぶの刈り払いが必要であり、新たな実施体制・補助制度等の導入を検討すること。
(4) 里側に生息する有害鳥獣の捕獲については、ICTやドローン等のさらなる調査研究を行い、より一層の捕獲に努めること。

議会運営委員会

委員長 半澤 高

議会運営委員会では、桑折町議会基本条例第20条に基づいた検証について、『公聴会制度利用』、『総合計画審議のあり方』、『議員の成り手不足解消』の3点を先進地事例等を参考に調査してきた。調査結果については、3月定例会にて以前の調査の結果も含め、委員会調査報告する予定である。



地元住民と被害状況を確認

今後もしも引き続き、地元町内会、有害鳥獣対策実施隊等との意見交換を行い、自助・共助・公助のバランスのとれた有害鳥獣対策を推進すること。

広報広聴

常任委員会
委員長 川名 静子

本委員会は議会内のお知らせ、町民皆様の「声」を議会活性化に活かすため「住民参加と情報公開の推進」を所掌事務調査に挙げ活動している。

定例会後に行っていた、議会報告・意見交換会はコロナの影響から今回、止む無く中止と

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策 調査特別委員会

委員長 斉藤 謙

去る11月17日第6回の特別委員会を開催。二課(健康福祉課・商工観光推進室)から、地域医療提供体制整備の進捗状況、商工業者に対する財政支援等について説明を受けた。地域医療提供体制整備に関しては、国・県の指導の下、現段階での医療体制整備には、問題がないことを



編集メンバーが交替

確認した。また、商工業者に対する財政支援等については商工会や金融機関を通して、対象者に対して資金を融通していることを確認した。なお、住民や事業者への制度利用について、更に、解りやすい案内や周知策を講じることを担当課に要請した。

特別委員会報告

令和元年台風第19号災害対策等調査特別委員会

委員長 原 賢志

1、調査事件

令和元年台風第19号による災害対策等に関する調査について

2、調査の目的

令和元年台風第19号による災害対策と今後の水害対策に関する調査のため

3、調査の結果

特別委員会は、令和元年11月11日の臨時会において設置され、令和元年台風第19号による災害対策等に関し調査を行ってきた。コロナ禍により調査が長期間となり、今回最終報告を行うこととした。期間中、(1)被害の概要(2)対応体制(3)情報提供と避難所(4)被災者支援と災害復旧について調査を行い、9月に中間報告を行った。報告後、町内の河川改修予定、「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」の本町以外の支流の改修計画並びに新庁舎における災害対応についても説明を受け質疑を行った。

世界的な気候変動により、台風の発生頻度、進路、勢力等について想定することは、今後な

お一層難しくなるものと考える。

今回の教訓を活かすべく、引き続きの調査研究を行い、有事に備えていかなければならない。

町当局は、中間報告のとおり情報提供の改善策を講ずると共に他の情報提供方法・町民の情報リテラシー向上策等を研究し、的確に情報が伝わるよう努める必要がある。併せて、防災訓練等を通して避難所の周知を図ると共に地域における防災意識の高揚と状況に応じた難を逃れる場所、避難方法について確認するよう啓発に努め、必要なものの備蓄や持参を呼び掛けるべきである。

また、国県に対して、現在予定されている計画の早期完了と更なる改良を求めるよう要望する。

議会としても、町内の中小河川改修の必要性、「阿武隈川流域治水対策プロジェクト」の有効性等について、議会として「高い関心」を持つていくことを確認し最終報告とする。

モニターさんからの感想・意見

小原浩美 モニター

質 動画視聴は手軽だ。若者がもっと関心を持てるよう考えて。
答 (広報広聴)議会だよりにホームページへアクセスできるようQRコードを新設していく。

佐藤 勲 モニター

質 専門委員会の事も知らせるべき。各議員の「抱負」等ざっくばらんに語り掛けて。
答 (広報広聴)活発な委員会活動の様子ができるような編集に努める。議員の登場は和むページになると思うが、公的な広報誌なので難しいと考える。
質 種々の助成等で実施される事業も、交付金頼りでなく積極的に町も議会も自活の道を話し合うべきではないか。
答 (議長)殆どの市町村財源の三割近くは交付税、また国・県の支出金で賄われています。少子高齢化が進む中で、持続的な町民サービスを維持するには自主財源だけでは自活はできません。課題である人口増加策や産業振興策など議会も町も共に施策を講じ必死に取り組んでいきたい。

川村洋一 モニター

質 若い考えで進めて欲しい。(時代に合う、過去の良い所を強調しすぎ)・町民の利益(住みよい、住みやすい)になる努力をお願いしたい。
答 (議長)町の将来を担うのは若い方々です。住み続け、住んでみたい町の実現は若人の声を聞くと同時に今携わる議会や町が取組む責任でもありますので、今後も若い方々と議会との「町民会議」等を企画し、町、町民の利益に繋がるよう努めていく。

佐藤俊彦 モニター

質 市議会議員に比べ、町村議会議員の報酬が少ない。議員報酬を引き上げるべきと考える。
答 (総務文教)「特別職報酬等審議会」条例第2条で、当該議員報酬等の額について議会の意見を聞くものとする。とあり、町長が諮問するか否かを判断する。議員報酬の引上げ等に関しては「特別職報酬等審議会」で判断する。

佐々木明 モニター

質 議事を進めるにあたり、議会運営委員会での審議が多いのはなぜか。
答 (議会運営)本委員会は議会を円滑かつ効率的に運営するため設置されている。問題点が生じた場合は委員会を開催し協議する。今回様々な問題に対応したための開催だった。
質 桑折町農業振興基金条例が出来た経緯と資金はどこから出たのか
答 (総務文教)平成24年度から放射性物質検査を行う全量全袋検査を実施してきたが、財源は東京電力の賠償金を充当し、本町にあっては町直営で実施し経費縮減に努めた結果、剰余金が発生、返還の不要から、桑折町農業再生協会の議決を得て、一般会計の繰入基金とした。

佐藤順子 モニター

質 一般質問(録画映像)がホームページで過去の分も見られる事をアピールしては。
答 (広報広聴)一人でも多くの方に関心を寄せて頂くため情報発信時に取り入れたい。

公立藤田病院組合

選出議員

齋藤 松夫
羽根田千代
斉藤 謙

第3回公立藤田病院組合議会定例会

令和2年度は診療報酬改定が実施され、診療本体0・55%引き上げられたが、薬価、医療材料価格がそれぞれ引き下げられ、改定率は全体で0・46%マイナス改定となった。患者数は新型コロナウイルスの影響から、入院患者数前年比▲7・70%減、外来患者数前年比▲13%減となり、収支状況は▲2,700万円の赤字計上となった。赤字の要因は多額の退職手当引当金1億8千万円引き当てたことによる。これが無ければ7千万円程度の黒字決算の見込であった。



伊達地方消防組合

選出議員

川名 静子
佐藤 武朗

初の女性消防吏員の誕生

中央道の部分開通に伴い管轄区域が広がり、相馬地方広域消防本部と広域協定を締結し、警防業務に当たっている。また、コロナ禍の影響から業務が制限される中、消防組合初の女性消防吏員が誕生し研修中である。さらに、今年度採用には届かなかったものの、応募者が徐々に増えてきている。それに伴い女性専用施設の整備も行われた。西分署庁舎建設事業は、基本構想・基本計画が予定通り進み、令和4～5年の建設となる。



伊達地方衛生処理組合

選出議員

半澤 高
岩崎 久男

令和2年10月21日開催の定例会では決算認定、補正予算承認の前に繰越明許費について次の2点報告があった。①昨年の台風19号において発生した災害廃棄物処理事業は7月末で完了した。②仮設焼却炉運営事業については、施設解体撤去および搬入路補修工事を行い5月末で完了した。

また、全員協議会にて仮設焼却炉跡地に森林復旧事業として5,400本の植栽を予定している旨の説明があった。



福島地方水道用水供給企業団

選出議員

片平 秀雄

収益的収支(消費税抜き)は、水道用水供給事業収益42億7,645万1,661円に対し、水道用水供給事業費用45億3,934万7,683円で、収支差し引き額2億6,289万6,022円が当年度純損失となり、前年度繰越欠損金12億1,247万6,573円に当年度純損失を加えた14億7,537万2,595円を、未処理欠損金として翌年度に繰り越した。

資本的収支(消費税込み)は、資本的収入は無く、資本的支出が23億1万657円となり、資本的収入額が資本的支出額に不足する額23億1万657円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,861万7,680円及び過年度分損益勘定留保資金22億7,139万2,977円で補てんした。

令和元年度 一部事務組合への町負担金

単位：千円

区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
公立藤田総合病院	91,834	75,326	72,707	69,300	73,459
伊達地方消防組合	209,554	203,440	196,030	175,903	170,920
伊達地方衛生処理組合	73,789	69,095	67,620	64,785	61,685
合 計	375,177	347,861	336,357	309,988	306,064

◆一部事務組合とは

行政の能率化、効率化を図るため、特定の事務を関係市町村で共同処理する方式です。

議員活動状況報告書					令和2年9月定例会報告以降					
年	月	日	活 動 状 況	対 象 者	年	月	日	活 動 状 況	対 象 者	
2	9	7	議会全員協議会	全 議 員	2	10	18	桑折町防災訓練	議 長	
			第7回定例会本会議	全 議 員			20	議会運営委員会	選出委員	
			総務文教常任委員会	選出委員				第10回令和元年台風第19号災害対策等調査特別委員会	選出委員	
		8	議会全員協議会	全 議 員				全国山城サミット桑折大会準備委員会	議 長	
			第7回定例会本会議	全 議 員			21	令和2年第4回伊達地方消防組合議会全員協議会	選出議員	
		9	議会全員協議会	全 議 員				令和2年第4回伊達地方消防組合議会定例会	選出議員	
			第7回定例会本会議	全 議 員				令和2年第3回伊達地方衛生処理組合議会全員協議会	選出議員	
			議会運営委員会	選出委員				令和2年第3回伊達地方衛生処理組合議会定例会	選出議員	
			産業厚生常任委員会	選出委員				22	第15回伊達郡町議会議員大会決議事項等に係る要望活動	議 長
		10	総務文教常任委員会	選出委員			23		例月出納検査	選出委員
			広報広聴常任委員会	選出委員			27		総務文教常任委員会	選出委員
		11	議会全員協議会	全 議 員			28	議会全員協議会(新庁舎内覧会)	全 議 員	
			第7回定例会本会議	全 議 員			29	産業厚生常任委員会	選出委員	
			第9回令和元年台風第19号災害対策等調査特別委員会	選出委員			11	4	産業厚生常任委員会	選出委員
		14	議会全員協議会	全 議 員				5	第11回令和元年台風第19号災害対策等調査特別委員会	選出委員
			第7回定例会本会議	全 議 員				6	桑折町表彰式	議 長
		15	議会全員協議会	全 議 員				ふくしま駅伝桑折チーム選手壮行会	議 長	
			第7回定例会本会議	全 議 員				9	広報広聴常任委員会	選出委員
		17	議会全員協議会	全 議 員				10	議会全員協議会	全 議 員
			第7回定例会本会議	全 議 員				議会運営委員会	選出委員	
		18	議会全員協議会	全 議 員			議会運営委員会	選出委員		
			第7回定例会本会議	全 議 員			12	議会全員協議会	全 議 員	
			広報広聴常任委員会	選出委員			令和2年第8回桑折町議会臨時会	全 議 員		
		23	全国山城サミット桑折大会準備委員会	議 長		13	総務文教常任委員会	選出委員		
		24	広報広聴常任委員会	選出委員			広報広聴常任委員会	選出委員		
		25	例月出納検査	選出委員			17	第6回新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策調査特別委員会	選出委員	
		29	伊達郡町村会議長会議	正副議長				広報広聴常任委員会	選出委員	
			議会全員協議会	全 議 員				19	第12回令和元年台風第19号災害対策等調査特別委員会	選出委員
		議会運営委員会	選出委員	総務文教常任委員会			選出委員			
		30	広報広聴常任委員会	選出委員			20	第58回優良従業員等表彰式	議 長	
	1	琴平神社例大祭式典	議 長	令和2年第4回公立藤田病院組合議会臨時会				選出議員		
		総務文教常任委員会	選出委員	24				産業厚生常任委員会	選出委員	
		藤田病院議会勉強会	選出議員				25	例月出納検査	選出委員	
		全国山城サミット桑折大会準備委員会	議 長	27		広報広聴常任委員会	選出委員			
	10	2	桑折町表彰事案審査委員会	議 長		29	桑折駅前イルミネーション点灯式	議 長		
		7	広報広聴常任委員会	選出委員		30	議会運営委員会	選出委員		
		8	令和2年福島県町村議会議員研修会	全 議 員			議会全員協議会	全 議 員		
		9	広報広聴常任委員会	選出委員			令和2年第9回桑折町議会臨時会	全 議 員		
		11	全国山城サミット桑折大会プレ大会	議 長			第13回令和元年台風第19号災害対策等調査特別委員会	選出委員		
		12	福島県町村議会議長会 理事・監事合同会議	議 長		12	1	広報広聴常任委員会	選出委員	
		13	総務文教常任委員会	選出委員			3	広報広聴常任委員会	選出委員	
		15	議会全員協議会	全 議 員						
議会運営委員会		選出委員								
16		令和2年第3回公立藤田組合議会全員協議会	選出議員							
	令和2年第3回公立藤田組合議会定例会	選出議員								

臨時会

成人式出席者本人にPCR検査助成を

第8回 11／12(木)

補正予算
一般会計(第8号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,831万1千円を追加し、予算総額を90億2,078万円とするもの。

《歳入の主なもの》

・地方創生臨時交付金 2,425万3千円

・個人番号カード交付事務費補助金 163万4千円

・県農業農村整備事業補助金 250万円

※成人式が延期に(12／24決定)

《歳出の主なもの》

・シティブロモーション推進費 235万円

・戸籍住民基本台帳事務費 306万3千円

・予防接種事業費 350万6千円

・農業施設維持費 250万円

・商工振興対策費 1,307万8千円

・生涯学習振興費 40万円

賛成

半澤 高議員

賛成の立場から討論する。補正予算は、マイナンバーカード普及促進のための「こおり応援商品券事業」や桑折エールプロジェクト第2弾の「ライトアップ&イルミネーション事業」、さらには「成人式出席者PCR検査」など盛り込まれたもので

反対

齋藤 松夫 議員

本補正予算案の中に220万円をもつてする新庁舎等ライトアップ委託事業が計上されている。この財源は地方創生臨時交付金である。そもそも地方創生とは地方衰退傾向にストップをかけ、地方を創生するために打ち出された政策である。従って地方創生臨時交付金も本来の目的に添った予算執行が求められるものだ。国の財政制度審議会では、この臨時交付金の使い方に問題があるのではないかとの厳しい議論も行われている。新庁舎ライトアップ事業に対してこの観点からすれば妥当なものとは評価できず賛成できない。

第9回 11／30(月)

条例改正
町職員の給与に関する条例の一部改正

県人事委員会勧告に準じ、職員の期末手当支給割合を0.05引き下げるもの。(会計年度任用職員も含む)

補正予算
一般会計(第9号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ467万1千円を追加し、予算の総額を90億2,545万1千円とするもの。

《歳入》

・地方創生臨時交付金 438万1千円

・繰越金 29万円

・行政連絡員費 188万6千円

・保育所管理運営費 29万円

・健康増進事業費 249万5千円

高く評価する。今後、マスコミなどのパブリシティを通し桑折町をPRするとともに、マイナンバーカード普及にあたっては、担当部署のみならずオール桑折町役場として取り組んでほしい。

議 案 審 議 結 果 表

○賛否の分かれた議案

議案名	議員名	岡本貴士	鈴木隆志	岩崎久男	齋藤松夫	佐藤武朗	斉藤 謙	羽根田八千代	佐藤榮三	川名静子	半澤 高	原 賢志	片平秀雄	可否
第8回臨時会(令和2年11月12日)														
議案第44号 令和2年度桑折町一般会計補正予算(第8号)		○	○	●	●	○	○	欠	○	○	○	○	-	可決

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 □：討論者

○全会一致で可決の議案

第9回臨時会(令和2年11月30日)														
議 案 名													討 論 者	
議案第45号	桑折町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例													
議案第46号	令和2年度桑折町一般会計補正予算(第9号)													

第10回定例会(令和2年12月8日から12月14日)														
議 案 名					討 論 者		議 案 名					討 論 者		
議案第47号	桑折町告示式条例の一部を改正する条例						議案第52号	令和2年度桑折町一般会計補正予算(第10号)						
議案第48号	桑折町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例						議案第53号	令和2年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)						
議案第49号	桑折町体育施設条例の一部を改正する条例						議案第54号	令和2年度桑折町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)						
議案第50号	桑折町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例						議案第55号	令和2年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)						
議案第51号	桑折町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例						議案第56号	令和2年度桑折町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)						

※報告は採決なし

町の声

議会広報委員会では発行後、各地区数名の方々にアンケート調査にご協力を頂いております。皆様からの率直な生の声として、「町民の声」のページに掲載しております。わかりやすい、伝わる紙面づくりの編集に生かさせていただきます。

◎「議会だより」アンケートから

- ・毎回読んでいる 8名
- ・目にしたとき 2名
- ・今回初めて 2名

「議会だより」を読んで気づいた点・要望など

- ・忙しさから読まなかったが、次号からまんべんなく読んでみたい。
- ・用語が分からず、読み進められない、慣れていないと読みにくい場合がある。
- ・(50代女性)
- ・明るめの色が視覚的に見やすくなると思う。用語の解説も。
- ・(30代女性)
- ・商店街を残すため、色々なイベント等で盛り上げて。
- ・(30代女性)
- ・今何が課題か知る事ができる。もっと関心を持ちたい。
- ・(60代女性)
- ・数字は表や横書きが見やすい。町を良くしたい議員の気持ちが伝わる。希望のある町、この町が大好きです。
- ・(60代女性)
- ・より良い町になるよう一票を投じている。一人ひとりがその事を忘れず議員活動をお願いする。
- ・(60代女性)
- ・議員の日常活動も紙面にあればより理解が進むのでは。
- ・(70代男性)
- ・町のビジョンが理解できない。一つの行政地区として何ができるか、求めるのか。
- ・(60代男性)

編集後記

令和2年度12月定例会を終え、旧役場庁舎の議場が63年の歴史に幕を閉じました。旧役場庁舎が開庁したとき、この議場で、当時の先輩議員は、この町の未来にどんな思いを馳せたのでしょうか。もしタイムマシンがあったら、現代の私たちの活動をどのように評価されるのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症は、人類の歴史に残る出来事となるでしょう。将来の町民が議会だよりを読み返し、コロナに打ち勝った私たちの取り組みを誇りに思える日が必ずくると信じています。倦まず弛まず屈せず、更に身を引き締めて、職責を全うしてまいります。

岡本 貴士

■広報広聴常任委員会

委員長 川 名 静 子 委員 岡 本 貴 士
副委員長 鈴 木 隆 志 委員 佐 藤 武 朗

まちの歳時記 ～60年前の激論は～



議会だより

令和3年1月13日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 片 平 秀 雄
編集 議会広報広聴常任委員会
電話 (024) 582-2113
印刷 株式会社日進堂印刷所

<http://www.town.koori.fukushima.jp>